

# ●1分で見える世界景気／2017年8月末から見た9月動向

※課題、問題が勢ぞろいの秋だが世界景気は回復中、日本も賃金増から消費増を加速できるか？

米国

欧州

## 英国

EU離脱交渉始まる

・ポンド安→物価上昇→4-6月  
GDP前期比+0.3% (減速)

フランス/マクロン大統領 (仏) 支持率急落6月64%→8月36%

ドイツ/株式指数 (DAX) 伸び悩み

欧州新車販売台数

・5月は前年同月比+6.8%  
・リーマンショック前の水準へ

欧州中銀の緩和縮小議論に注目集まる

・ユーロ高ドル安続  
・8月コア物価上昇1.2%にとどまる  
・スペイン、イタリア失業率10%上回

## 中国

10月の党大会に向けて景気浮揚が目立つ

・上場企業3118社の純利益2割増加

・地方政府の土地売却加速 (2017年1-7月約30兆円)

・バブル懸念から住宅ローン金利上昇

党大会以降に注目集まる

## トランプ政権の秋は

法人税減税、予算審議、債務上限引き上げに注目

## 景気は回復継続

4-6月GDP+3.0% (前期比年率換算)

8月雇用増+15.6万人、8月失業率4.4%

人手不足で住宅供給数増えず、7月新築戸建販売▲9.4% (年率換算)

8月新車販売▲1.9% (前年同月比)

FRB

9月緩和縮小決定か？

日本

・国内の上期自動車販売台数+9.2%  
・7月訪日客268万人 (前年同月比+17%) で過去最高  
6月失業率2.7%、正社員求人倍率1.01倍 (全体1.51倍)

## 地政学リスクで株弱含み

企業収益増→雇用回復→個人消費増加  
→物価上昇のサイクルに入れるか

## ●日銀

金融緩和が量から金利へ

①短期金利 (-0.1%) ②長期金利を0%へ誘導決定

## 新興国 物価落ち着き、景気浮揚へ

- ブラジル/1%利下げ、1-3月期GDP+1%、株高 (ボヘSPA指数)
- ロシア/4-6月GDP+2.5% (前年同期比)
- オーストラリア/住宅価格高騰

米国の金融緩和縮小リスクも要注意

政治、経済、地政学リスクの課題が勢ぞろい、総決算の秋

緩和マネー

緩和マネー